

2012.01.17

## 概要:

2チャンネル・スペアナの特長である2項目同時測定の制御方法を紹介します。また、単独チャンネルで測定した場合と測定時間の比較もできます。  
その他、CH1, CH2の制御サンプルがあり、設定モードにより画面が変化する様子が分かります。

## 測定項目:

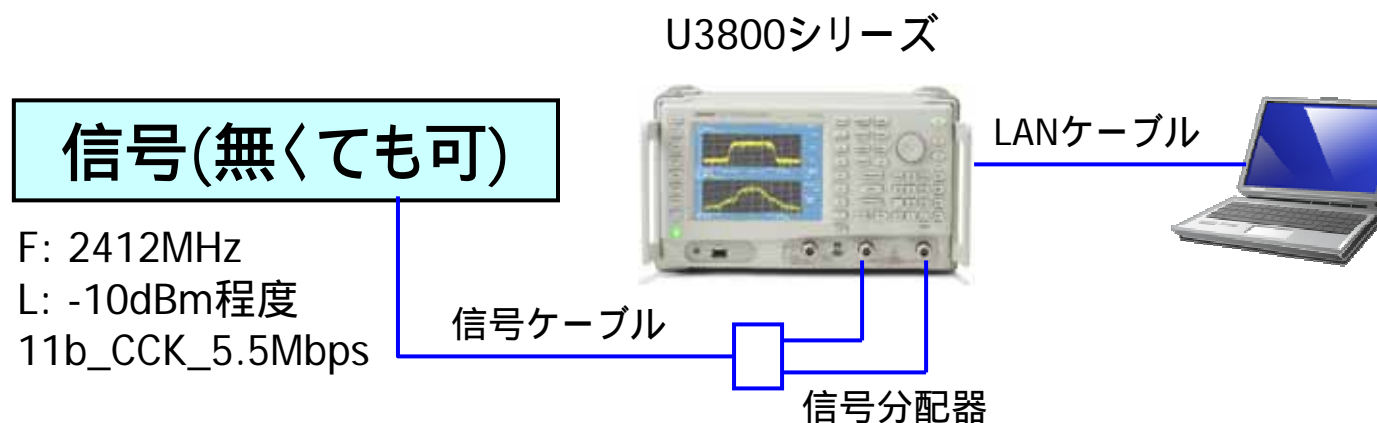
Telecの高度化小電力データ通信システム(WLAN)測定を参照にしています。(用途により修正して下さい)

## 測定方法:

周波数と掃引時間の指定を行う。掃引時間はバースト信号のため、1secの初期設定としています。  
(アナログ・スペアナ・モードの測定)

## 2. U3800 LAN\_1ch2ch 接続概要図

ADVANTEST®



1. 信号源(WLAN:11b\_CCK\_5.5Mbps)を接続します。  
(信号が無くてもソフトウェアは動作します)
2. 複数項目組合せ測定(モード)と単独項目測定で  
測定時間が比較できます。  
(チャンネルパワーの高確度、高安定性も確認)
3. CH1,CH2の測定(画面)モードを確認できます。

### 3. 測定順序とパネルイメージ

ADVANTEST®

サンプル・ソフトの起動

IPアドレス確認

コネクト

測定

U3800 LAN CH1CH2 Power Ver. 1.0

**Meas All (Using CH1+CH2)**

**Total Time (sec)**

☐ Continuity  
**Meas Stop**  
(After All Items)

Channel Power

Time

0

OBW (<26M)

0

Spurious(2Bands)

0

SBW (>500k)

Time

0

Frequency

0

AVG Power (1M)

0

**Total Time (sec)**  

Clear

IP Address:  
192.168.0.1  
**Connect**  
Local

SPA Conditions

Frequency

2412

MHz

Ref.Level

20

dBm

Sweep Time

1000

m sec

Preset

Select SPA

☒ U3841/51

☐ U3872

SCRF ON

SCRF OFF

SPLIT

Full CH1

Dual ON

Overlay

Full CH2

Dual OFF

## 4. 測定方法と主要キーの説明

ADVANTEST®

### 起動と測定:

1. アプリソフトの実行(スタートより U3800 LAN\_CH1CH2 を選択し実行)
2. IP Addressを確認または変更します。(デフォルトは192.168.0.1)
3. Connectボタンを押すとスペアナと接続されます。
4. 必要によりスペアナの初期設定を行います。(U3841/51,U3872を選択)
5. 大きなキー(Meas All)で一括測定、または小さなキーで個別測定をします。
6. それぞれの測定時間が確認できます。(個別測定は個別時間も表示)
7. 測定時間はスペアナ等の状態で少し違いますので何回か行います。
8. 終了はLocalを押しウィンドウを閉じます。

### その他のキー:

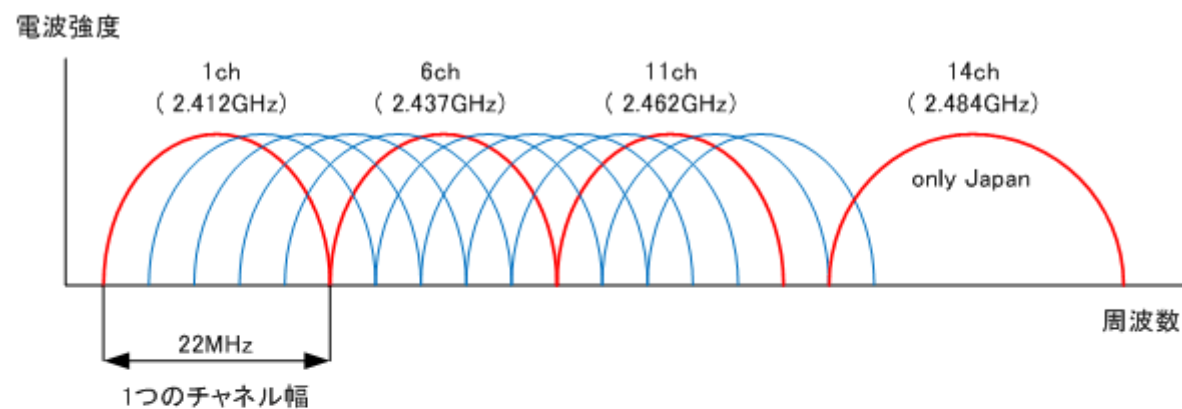
- a. SPA Conditionsデータ入力に必要なチャンネルに適用されます。
- b. Presetキーは機種を選択してから実行して下さい。(押します)  
その他、SPLIT, Overlayなどのキーはスペアナ画面のモードが確認できます。
- c. Continuityは連続測定のON/OFFです。(ただし、Meas All だけ動作します)  
ONにしてMeas Allを押します。Offは一回の測定サイクルが完了後終了します。

**ADVANTEST®**



## 参考2: WLANの周波数構成 (b, g)

IEEE802.11bのチャンネル配置



IEEE802.11gのチャンネル配置

